

本日の行動目標

- T字杖・Quad杖・歩行器の高さ合わせができる
- 杖の高さ合わせを背臥位から概算できる
- 歩行様式を指導できる
- 杖・歩行器の使い方を対象者に指導できる

杖の高さ合わせ



- 基本的に杖の持つ方はどちらか(確認)
- ランドマークを確認する
(前期の復習)
- T字杖の高さ合わせを素早く、正確に行う
(立位で長い時間は相手に負担、危険)



1) 前期で覚えた

背臥位で寝ている状態で杖の高さの計算式で杖の高さを計算し

2) 立位でのランドマークでの高さあわせと一致しているか確認する

メジャーを準備

自分の杖の高さ を

- ① 大転子の高さ cm
- ② 茎状突起の高さ cm
- ③ 計算式から算出する:
自分の身長 × ½ + 3.0cm程度 cm

大転子、茎状突起、計算式による杖の高さは同じでしたか？



T字杖の歩行様式 教p110



- 2動作歩行
(2点1点交差支持歩行)
- 3動作歩行
(常時2点支持歩行)

- 前型
- 揃え型
- 後ろ型



杖先ゴムの確認
杖のカットの仕方

Amazonで杖カッターで検索

杖先ゴムの高さを考えて切らないと高くなる可能性がある



どれを言われても実演して患者さんに説明できるようにしておく



T字杖:高さ合わせ



- Quad-cane(Q-杖) の高さ合わせ
- 合わせる方向を間違えないようにする

4点杖の調節



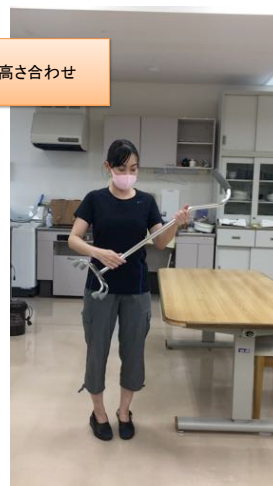
4点杖:右手用を左手用に変えて高さ合わせ



4点杖:右手用高さ合わせ



4点杖:左手用高さ合わせ



ロフトランドクラッチの調節(1)



ロフトランドクラッチの調節(2)



歩行器の使い方



- 歩行器の開閉が行えるか
- 歩行器の高さ合わせを行う
- 交互式と固定式の違いを確認しておく



交互式歩行器のたたみ方



歩行車の使い方



- 歩行車の開閉が行えるか
- 歩行車の高さ合わせが可能なものは高さ合わせを行う
- ブレーキを確認しておく



歩行車の扱い方





杖のチェックアウト

- 杖先ゴムの状態は毎回実施する
- ロフトランド杖の前腕支え位置は前腕近位 1/3
- T字杖の握りは肘関節は30度屈曲程度
- 松葉杖の脇当位置は腋窩から2-3横指下方
- 杖の長さは病態や対象者の体格・姿勢によって微調整する

移動様式の選定(見極め)

- 独歩
- 杖
- 歩行器・歩行車
- 伝い歩き(壁, 家具, 手すり 等)
- 車椅子(普通型, 介助型, ティルトリクライニングなど)
- 床移動(座位移動, 四つ這い移動)
- 抱きかかえ

自立・監視・介助 それらの併用？
どの必要性があるのか？